

東播磨の田園地帯を原チャリで駆ける 私の夏送り

Photo Album

今でないとみられぬ東播磨 田園地帯の里景色 2024.8.22.



東播磨の田園地帯を原チャリで駆ける心地よい一日に 2024.8.22.

今でないとみられぬ東播磨の里景色 私の夏送り

- 西神戸から自生の鷺草が舞う加西市の南端にある網引湿原へ
- ずっと気にかかっていた加西アルプスの岩山 善坊山・笠松山
偵察をかねて立ち寄り、古法華寺から岩尾根を登って笠松山山上へ
- 加古川中流の名勝「闘竜灘」の激流に出会い
- 加東市木梨の里の夏送り?? 緑一色の田園 田を渡る風が見える里景色
- 青田から黄金に色づく田園へ 加東市から三木市の田園地帯
 - ◆ 東播磨の風物詩 酒蔵の旗が畦に立ち並ぶ山田錦の里景色はこれから
 - ◆ 久しぶりに 加東市上久米の奥山 国宝 朝光寺をたずねました
 - ◆ 酒蔵の旗が畔を飾る里、北神戸淡河ではもう刈り入れまじかな里景色も

8月の猛暑逃れの原チャリwalk

この季節にしか見られぬ田園の里景色を楽しみました。

2024.8.22. Mutsu Nakanishi



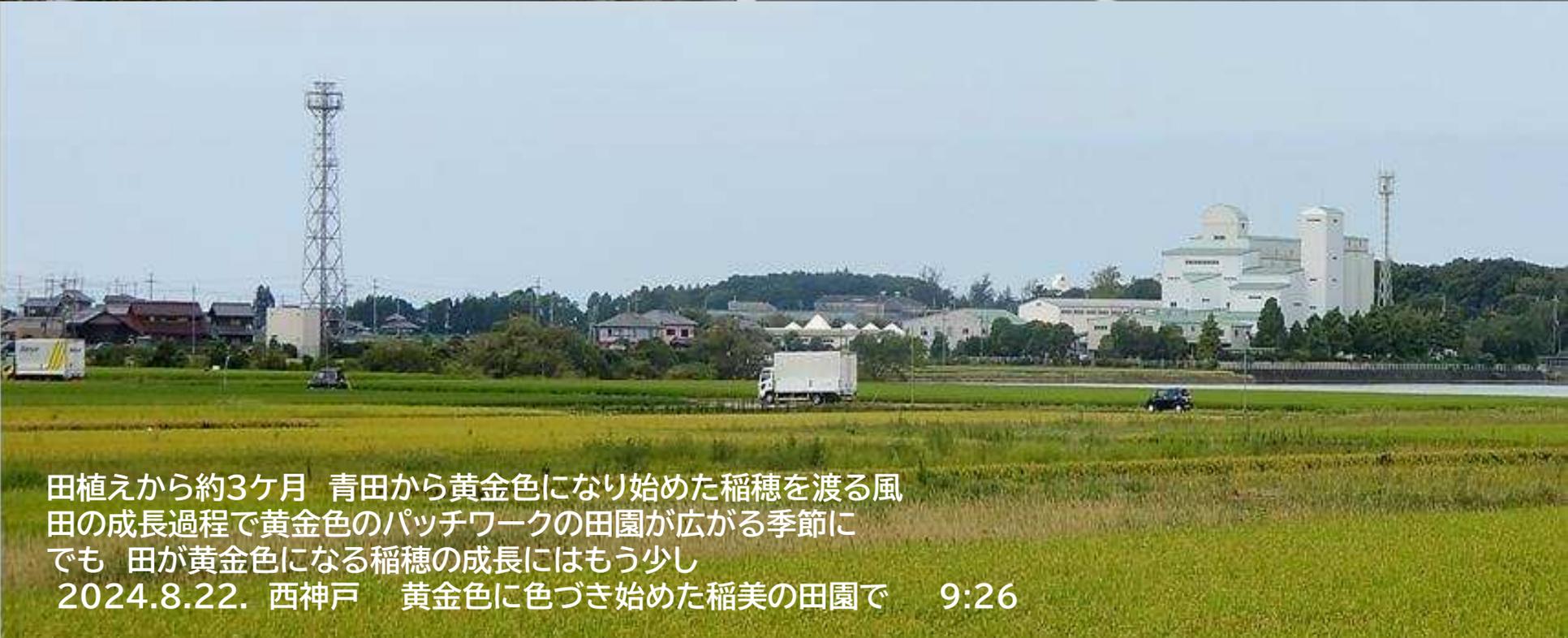
● 西神戸から自生の鷺草が舞う加西市の南端にある網引湿原へ
稲美野を駆けて加古川上荘橋/小野アルプスを北に越えて加西市網引湿原へ



6月の田植えから約3ヶ月 青田・出穂・稲穂へと順調に成長
黄金色になり始めた稲穂の田園を渡る風 2024.8.22. 西神戸 神出の里で 9:16.



6月の田植えから約3ヶ月 青田・出穂・稲穂へと順調に成長
黄金色になり始めた稲穂の田園を渡る風 2024.8.22. 西神戸 神出の里で 9:16.



田植えから約3ヶ月 青田から黄金色になり始めた稲穂を渡る風
田の成長過程で黄金色のパッチワークの田園が広がる季節に
でも 田が黄金色になる稲穂の成長にはもう少し
2024.8.22. 西神戸 黄金色に色づき始めた稲美の田園で 9:26



加古川 上荘橋の上流側 遠く三木市の街並を背に JR加古川線の加古川鉄橋が見え
穏やかな水面を数艇のボードが漕ぎ下ってくる のんびりとした加古川の夏景色

2024.8.22. 上荘橋を渡り 加古川西岸から加西の南端 網引湿原へ向かう途中
久しぶりの加古川上荘橋で 9:41

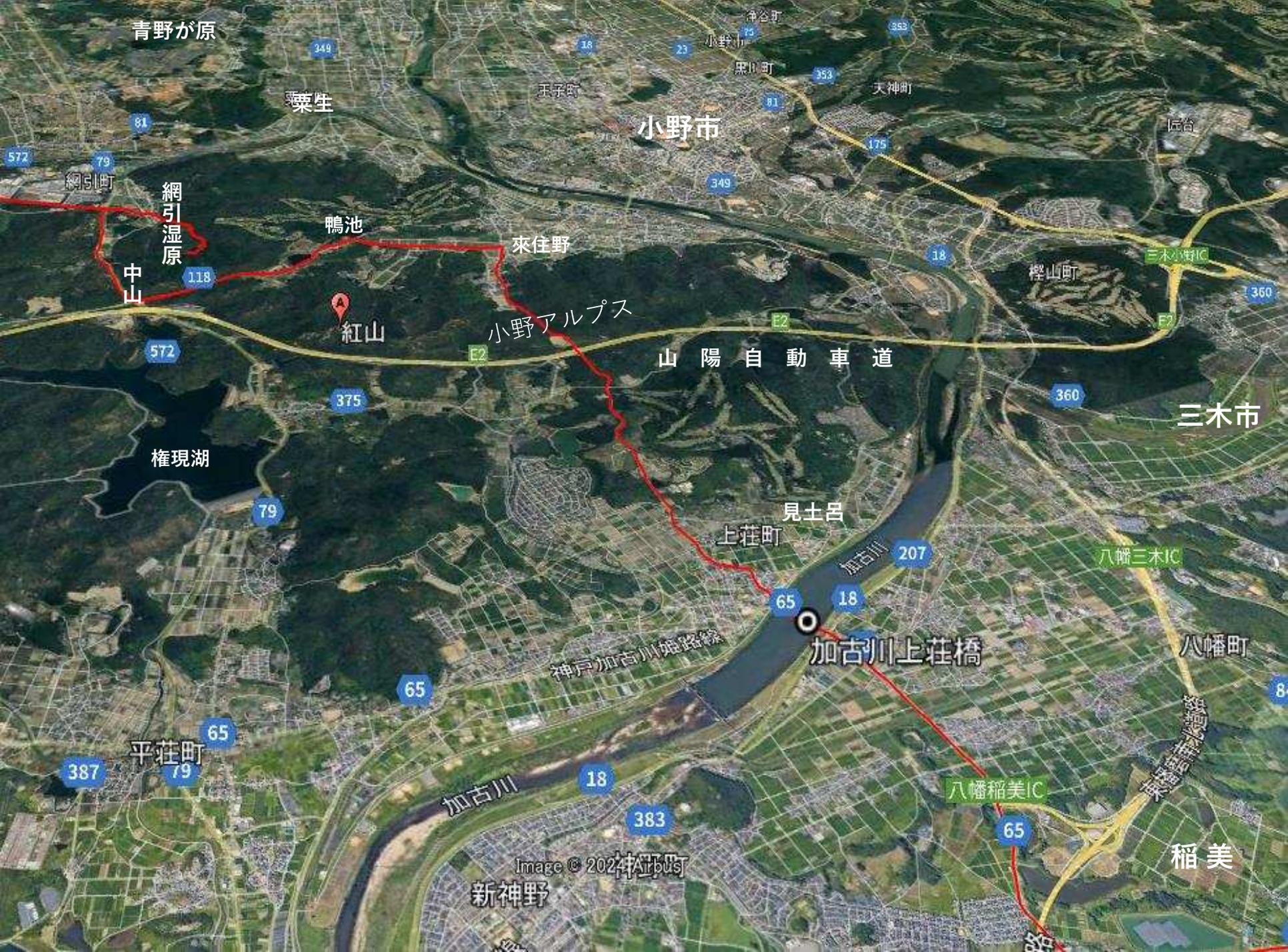
東播磨の田園地帯を原チャリで駆ける 夏の終わり8月の 里景色

【1】 加西市南端 鷺草が咲く網引湿原へ 2024.8.22.



加古川西岸 小野アルプス南山麓の丘陵地に広がる上荘町見止呂の里の田園 2024.8.22. 9:47

毎年秋には黄金色に広がる田園の素晴らしい景色が見られるのですが、今回はまだまだ青田の海
左手奥に 西神戸神出の雄岡山・雌岡山が顔を出している。四季折々訪ねる加古川西岸の田園地帯への入口
小野アルプスを北に越えれば、小野アルプスの東端 小野市來住。この來住野の北で小野アルプスの東端を回り込んできた
加古川が青野が原丘陵の南端に阻まれ再度北へ遡る。この青野が原の丘陵地を境に西に加西市 東に小野市の広大な田園
の田園地帯が 中国山地の山裾まで広がっている。四季折々何度も駆ける道 今日北の來住野へぬけ、さらに加西南端の
網引湿原・善坊の山から北東部に道をとって加古川鬮竜灘へ 気ままな田園地帯をかける東播磨原チャリwalkです



青野が原

薬生

小野市

伝台

網引湿原

鴨池

來住野

櫻山町

中山

紅山

小野アルプス

山陽自動車道

三木市

権現湖

見土呂

上荘町

加古川上荘橋

八幡町

神戸加古川姫路線

平荘町

新神野

稲美

Image © 2024 神戸市

白鷺か羽を広げたような優美な姿
国宝 姫路城



加西市網引湿原に咲く鷺草

白鷺が羽を広げて舞う美しい姿に例えられる姫路城

その姫路城から東へ約17km 加古川西岸 小野アルプスの懷に抱かれ、毎年 8月になると自生する純白の鷺草がひっそりと咲き誇る小さな湿原がある 加西市網引湿原 教えてもらって、ここ数年毎年鷺層が咲き出す頃になると出かけます。

本年5月末 仲間の同窓会で ゆっくりと美しい姫路城を見学する機会があり、

近くにいなながら、良く知らなかった姫路城の美しさに感動すると共に、網引湿原の鷺草が頭にうかび、姫路城を重ねての鑑賞。

本年はひっそりとした湿原の中 咲き誇る鷺草に顔をちかづけ、仲間を思い出しつつの網引湿原walkになりました

2024.8.22. 加西市網引湿原で Mutsu Nakanishi



上荘見土呂から北へ 小野アルプスの東端の丘を越えると小野市來住町
小野町の方へ出ず 西へ 小野アルプスに沿って鴨池へ
初秋には白い蕎麦の花が埋め尽くす田園も今はまだ青田 緑一色

2024.8.22. 鴨池の丘から眺める小野市來住野の田園

純白の鷺草が咲く加西市網引湿原 2024.8.22.



加西市網引湿原の鷺草 2024.8.22.



鴨池から西へ 福甸峠を越えて中山の十字路を北へ下ると加西市南網引の集落に入り、
 ちょうど今は鷺草が咲いていると期待が膨らむ網引湿原前に
 酷暑の今年はどうだろうか…… 毎年通い始めて3年になるが、まったく変わらぬ湿原前
 情報は全くなしですが、一年ぶり 人っ子一人いない湿原へ
 2024.8.22. 加西市網引湿原 入口 10:08

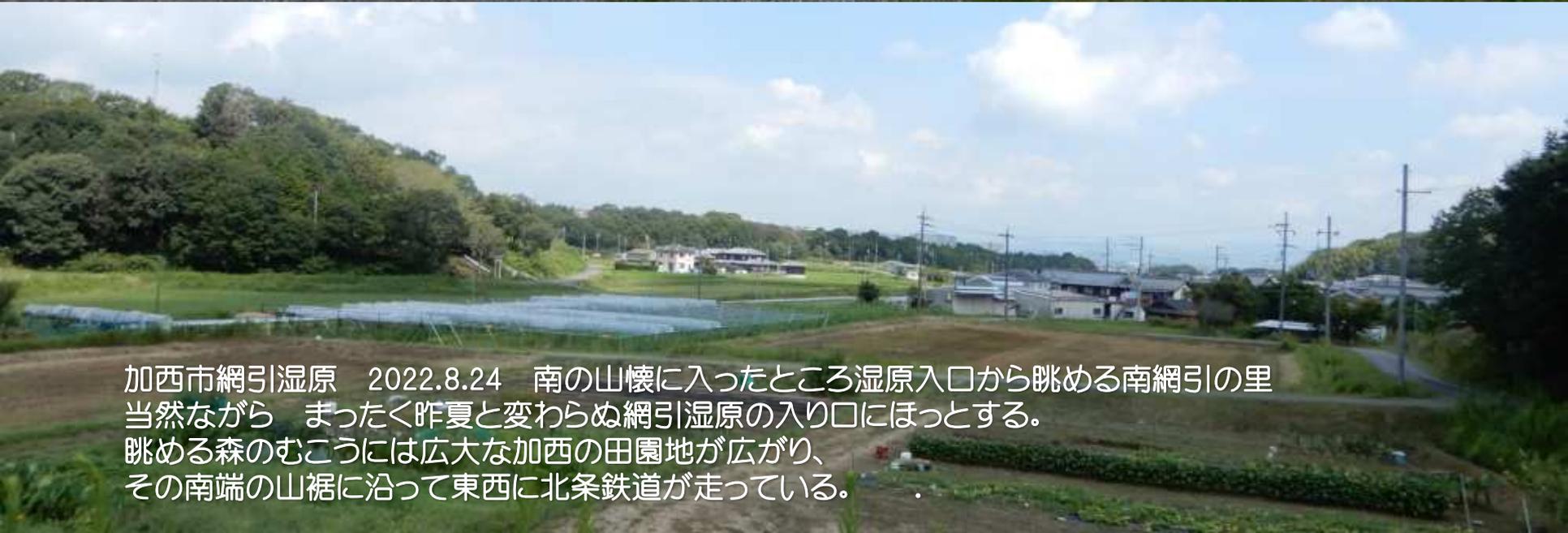
【参考】和鉄の道 風来坊の記録 < Photo Album & スライド動画 >

- [白鷺が舞うが如し 鷺草が咲く加西市網引湿原](#)
- [足元で白鷺が舞うがごとく自生の鷺草が咲く加古川西岸 加西市網引湿原へ](#)
- [知らなかった絶滅が危惧されている「八丁トンボ」が飛び交う兵庫県唯一の加西市網引湿原](#)

2023.9.2.
 2022.8.21.
 2022.5.24.



加西市網引湿原 2022.8.24 湿原入口から眺める南網引の里 .



加西市網引湿原 2022.8.24 南の山懐に入ったところ湿原入口から眺める南網引の里
当然ながら まったく昨夏と変わらぬ網引湿原の入り口にほっとする。
眺める森のむこうには広大な加西の田園地が広がり、
その南端の山裾に沿って東西に北条鉄道が走っている。 .



加西市の南端 網引湿原 2022.8.24 湿原入口から眺める北の南網引の里

網引湿原野生生物保護地区 (網引湿原地区) 告知

1. 指定年月日 平成26年6月1日
2. 指定番号 加西市指定第1号
3. 名称 網引湿原野生生物保護地区
4. 所在 加西市の一部
5. 指定基準 加西市の美しい環境をまもる条例施行規則第6条第1号から第3号
6. 趣旨 兵庫県下でも最大級の広さを誇る湧水田原で、希少な水生動植物が多数生息している場所です。
7. その他 この地区において、木竹の伐採、野生動物の採取・捕獲、捕集、一定の開発行為その他、野生動物の保護に影響を及ぼすおそれのある行為をする場合には、加西市長への届出が必要となります。届出をせず、又は虚偽の届出をした者は、**50万円以下の罰金**に科せられる場合があります。

加西市 加西市 加西市

禁止 煙草に 御座り下さい

加西市指定第1号

網引湿原地区

加西市指定第1号





加西市網引湿原入口 2024.8.22.

鶯草は咲いているだろうか… 期待一杯
入口の扉を開けて、湿原の中へ



第一湿原の入口で、手前の小川で靴を洗って湿原へ金網柵でしっかり管理された第一湿原 閉じられた入口の紐をほどいて中に入るとすぐそばで、群生して咲いている鷺草に出会えました。

我が町は自然保護に取り組んでいます。やさしく見守ってください。
希少動植物 持ち出さない!!
持ち込まない!!
踏み込まない!!

必ず小川で靴底を洗ってください。
一歩の踏み込み禁止のため

第一湿原の入口で 手前の小川で靴を洗って湿原へ金網柵でしっかり管理された第一湿原 閉じられた入口の紐をほどいて中に入るとすぐそばで、群生して咲いている鷺草に出会えました。



2024.8.22. 鷺草との出会い 網引第一湿原で
野草に顔を寄せ、眼を凝らして、デジカメを覗いて、姿・かたちを楽しむ



2024.8.22. 鷺草との出会い 網引第一湿原で

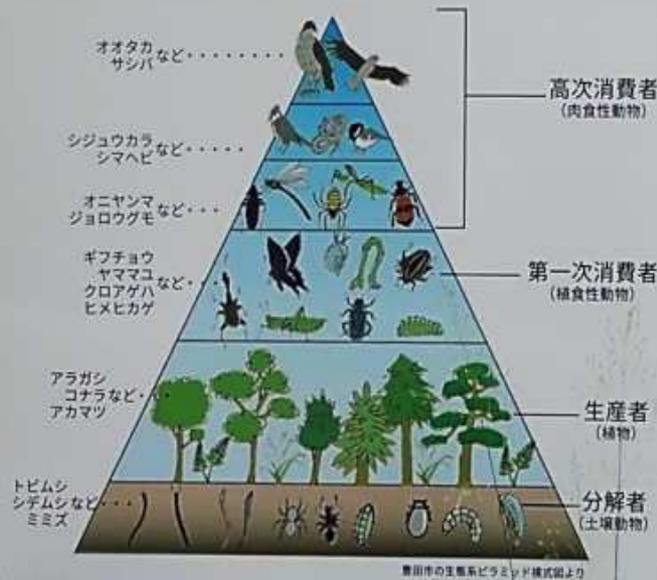




2024.8.22. 鷺草との出会い 網引第二湿原へ



2024.8.22. 鷺草との出会い 網引第二湿原で



植生管理による持続的な保全に取り組んでいます

- 1, 湿原内と周縁部の樹木伐採
植生の遷移による湿原の森林化を防ぐために実施しています。
- 2, 湿原の乾燥防止
湿原内部に大きな水路ができないように水をせき止め、湿原の水位を上昇させるようにしています。
- 3, ヌマガヤの刈り取り
湿原の多様な植生を維持するため、背の高いヌマガヤの生育場所が拡大することを防いでいます。



マムシ注意

第二湿原の縁にあった植生管理の案内板
網引湿原を維持してゆくための管理のご苦労
が良く判りました。



2024.8.22. 網引湿原 第二湿原

第一湿原より、第二湿原の方がひろく、ここでも野草の中に鷺草のほかにも花をつけた野草が見られましたが、いずれも花は小さく、目を凝らさないと良く見えず。

でも、自生路群生する花を目を凝らして眺めるのも湿原歩きの楽しみか……

もう 鷺草とともにこの湿原を代表する朱鷺草は咲き終わり、一円玉大の八丁蜻蛉もいませんでした。また、マムシには出会いませんでしたが、シオカラトンボの雄・雌やアゲハチョウにも出会えました。



2024.8.22. 自生群生して咲く鷺草 網引第二湿原で



2024.8.22. 自生群生して咲く鷺草 網引第二湿原で



サワシロギク 澤白菊



2024.8.22. 網引第二湿原で
こんな野草の花にも出会えました



湿原の端 道に沿ったところで咲いているのを発見
筒の中がなかなか見えでしたが、デジカメのぞくと美しい。
「ミズギボウシ」というようです
私は花の名前はちんぷんかんぷんですが、
google レンズが使えるようになって、その場で調べられるのがうれしい。
2024.8.22. 網引第二湿原で



2024.8.22. 網引第二湿原で見つけたアゲハ蝶





今回は湿原で誰も出会わず、独り占め
酷暑の夏 湿原の乾燥化や課題の多い今 ひょっとして 今年はお会いできないかもしれぬと心配
しましたが、手入れも良く行き届いた保全管理で今年も自生する数多くの鷺草にお会いしました。
案内板によれば、湿原の乾燥化と湿原内の植生管理が行き届かないと湿原維持が出来ぬことも知
りました。 ゆつくりと自生する生物を眺められる兵庫県の数少ない湿原です



A photograph showing a dirt path leading through a dense forest of green trees. In the background, a field of white flowers is visible through the trees. The scene is bright and sunny.

自生する純白の鷺草が群生して咲く加西市網引湿原
今年も うれしい夏送り
厳しい夏でしたが、気持ちも爽やか すっきりと

2024.8.22. 加西市網引湿原で鷺草との出会い 11:08

純白の鷺草(サギソウ)

花言葉は「無垢」・「清純」・「繊細」

この花に出会うと 心爽やか
もう夏も終わりを感じます

初めてであったときは こんな美しい花があるのか・・・と

加古川西岸の小さな湿原「網引湿原」に

野生の鷺草が夏のいつとき野草に混じって咲き誇る

酷暑の本年も 8月22日 朝 原チャリを走らせ加西市網引湿原へ

白鷺か羽を広げたような優美な姿
国宝 姫路城



加西市網引湿原に咲く鷺草

白鷺が羽を広げて舞う美しい姿に例えられる姫路城

その姫路城から東へ約17km 加古川西岸 小野アルプスの懷に抱かれ、毎年 8月になると自生する純白の鷺草がひっそりと咲き誇る小さな湿原がある 加西市網引湿原 教えてもらって、ここ数年毎年鷺層が咲き出す頃になると出かけます。

本年5月末 仲間の同窓会で ゆっくりと美しい姫路城を見学する機会があり、近くに居ながら、良く知らなかった姫路城の美しさ感動する。すぐに網引湿原の鷺草が頭にうかび、姫路城を重ねての鑑賞。

本年はひっそりとした湿原の中 群れ舞う鷺草に顔を近づけつつ、仲間を思い出しつつの網引湿原walkになりました

2024.8.22. 加西市網引湿原で Mutsu Nakanishi

純白の鷺草が咲く加西市網引湿原 2024.8.22.

初めて出会ったときは「こんな美しい花があるのか・・・」と
夏のいつか「加古川西岸の小さな湿原「網引湿原」に野草に混じって
ひっそりと咲く「鷺草」に今年も出会えました
誰もいない森の中の空間の中 鷺が舞うがごとく群れて咲く鷺草の舞姿
暑さを忘れ、心爽やか もう夏も終わりと。



加西市網引湿原の鷺草 2024.8.22.



網引湿原の森の中をぬけると真っ青な空に入道雲が黙々と水分をとりながらの原チャリwalkに意外とずっと加西の網引湿原に来れたので、予定していた闘龍灘へ行く前に、網引湿原からは山裾伝いに北西10km ずっと気になっていた岩尾根の加西アルプスに足を延ばす予定変更 11:05

【2】気になっていた加西アルプスの岩山 善坊山・笠松山へ 岩山確認をかねて 古法華寺から登って笠松山岩尾根を登る



西側入口 古法華自然公園

笠松山
笠松山登り口 吊り橋
善坊山

田原町

鶉野町

中野町

網引湿原・鷺草

網引町

Image © 2024 Airbus



小野市 浄谷 ひまわりの丘 2024.7.19.



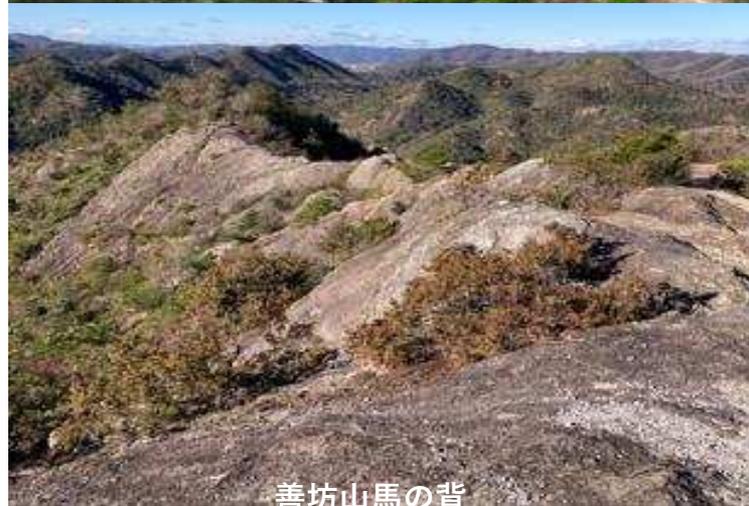
ひまわりが咲く8月 小野のひまわり畑正面 青野が原の背後にそびえる低山ながら、急登の岩尾根が続く山塊が見える。何度も近くを通る度に見上げる岩山。ハイキングコースと聞くのですが、神戸では情報があまりなし。昔 その登り口古法華の石仏群を見に行った記憶があるのですが、ほとんど覚えていない。でも遠くから眺めていつも気になる山。先日 家内と佐用からの車の帰り道 古法華の登り口まできっちり確認できたので、笠松山直登の岩尾根の様子見がてら少し登ってみることに。網引湿原の入口からは山裾を西北へへ10km 何度も通う道。また 古法華の記憶が戻ってくるかもと。南網引の十字路を西に山裾を善坊へ その途中にはいつも加西の広大な田園地帯を眺めるView Pointもあり。

加西アルプス（善坊山～笠松山）トレッキングマップ



善坊山

笠松山



善坊山馬の背

↑上記のトレッキングマップ上が南 ご注意ください



きつい岩尾根・鎖場もあるのに案内はハイキング・トレッキングコース??? と書かれているのですが、麓から眺める山はきつい岩山。
 本当のところは？ 高齢ハイクにはきついのか？
 興味津々なれど神戸では情報なし。
 北条鉄道はあるが、現地までは原チャリが足。
 気になりながら、いつも岩山を見ながら通過する加西アルプス。
 今日はよい機会 古法華の石仏群見学をかねて、笠松山の急な岩尾根を少し登って、加西の田園地帯がみえるところまで……と思い立つ。
 時間は約1時間程度と決めてのwalkに



網引湿原から南網引の集落を抜けると来るときにやってきた県道79号南網引町の十字路をそのまま北に渡って産業団地を抜けて北にゆくと 北側に広大な加西の田園地帯が見えてくる。

そして前方には大きな山並 加西アルプスが見えてくる [このPhoto Google Earth](#) 南網引町より

南網引から産業団地を抜けるとパッと広がる広大な加東播磨の田園地帯 2024.8.22.
北西に目指す加西アルプス 中央から北東側には広大な加西の田園地帯 11:15

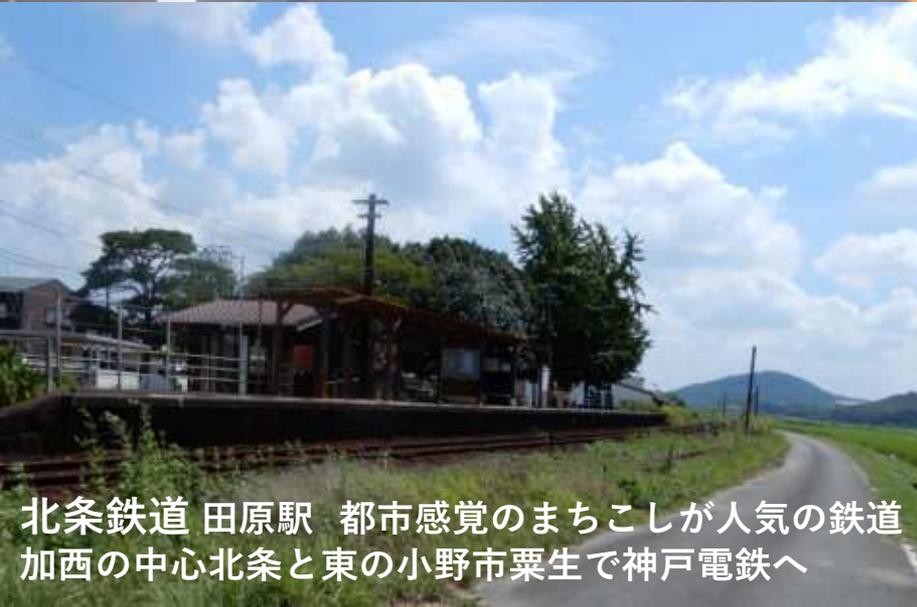




もくもくと湧き上がる入道雲 丘の下には青田が広がる広大な加西の田園地帯 11:16
東西に流れに沿って流れる下里川に沿って走る北条鉄道 田原町の里が見える 2024.8.22.



田原町周辺からながめる加西アルプス 田園はまだまだ緑一色 田園を見ながらかける楽しみ



北条鉄道 田原駅 都市感覚のまちこしが人気の鉄道
加西の中心北条と東の小野市粟生で神戸電鉄へ



田原駅西 下里川土手周辺から眺める善坊山



田原駅西 下里川土手周辺から眺める善坊山
加西市善坊の里の家並を前に荒々しい岩山の姿

2024.8.22.
山頂への岩尾根がくっきりと



Google Earthと地図で網引湿原から善坊山塊の道筋をたどる



Image © 2024 Airbus



姫路へ向かう国道472前坊のT字路前 右に折れて善坊山の山裾
善坊の街中をグルリと抜けて 古法華自然公園へ
途中 善坊山の登り口が街中にあるのですが、
今回は先日確認した古法華自然公園野中へ **google earth** より



笠松山 古法華 登り口へ



ここから古法華自然公園入口までは自動車に入れるのですが、その上は峠越えの細い道。軽自動車でないとならぬと古法華までは厳しいと。山を回り込んだ西側の公園入口からは幅の広い道路が古法華までつながっているのだから側からがベター。入口駐車場から歩くのであればOK。そうでなければ、善坊山登山口の駐車場に車を置いて、善坊山から縦走回遊のが良いかも。いずれにしても、インターネット並びにガイドブックをご参照ください。私は原チャリなので、今回はok。いつも山裾や遠くから見上げていた山

加西アルプス（善防山～笠松山）トレッキングマップ



↑上記のトレッキングマップ上が南 ご注意ください



きつい岩尾根・鎖場もあるのに案内はハイキング・トレッキングコース??? と書かれているのですが、麓から眺める山はきつい岩山。本当のところは？ 高齢ハイクにはきついのか？ 興味津々なれど神戸では情報なし。北条鉄道はあるが、現地までは原チャリが足。気になりながら、いつも岩山を見ながら通過する加西アルプス。今日はよい機会 古法華の石仏群見学をかねて、笠松山の岩尾根を少し歩いて、加西の田園地帯がみえるところまで……と思い立つ。時間は約1時間程度と決めてのwalkに



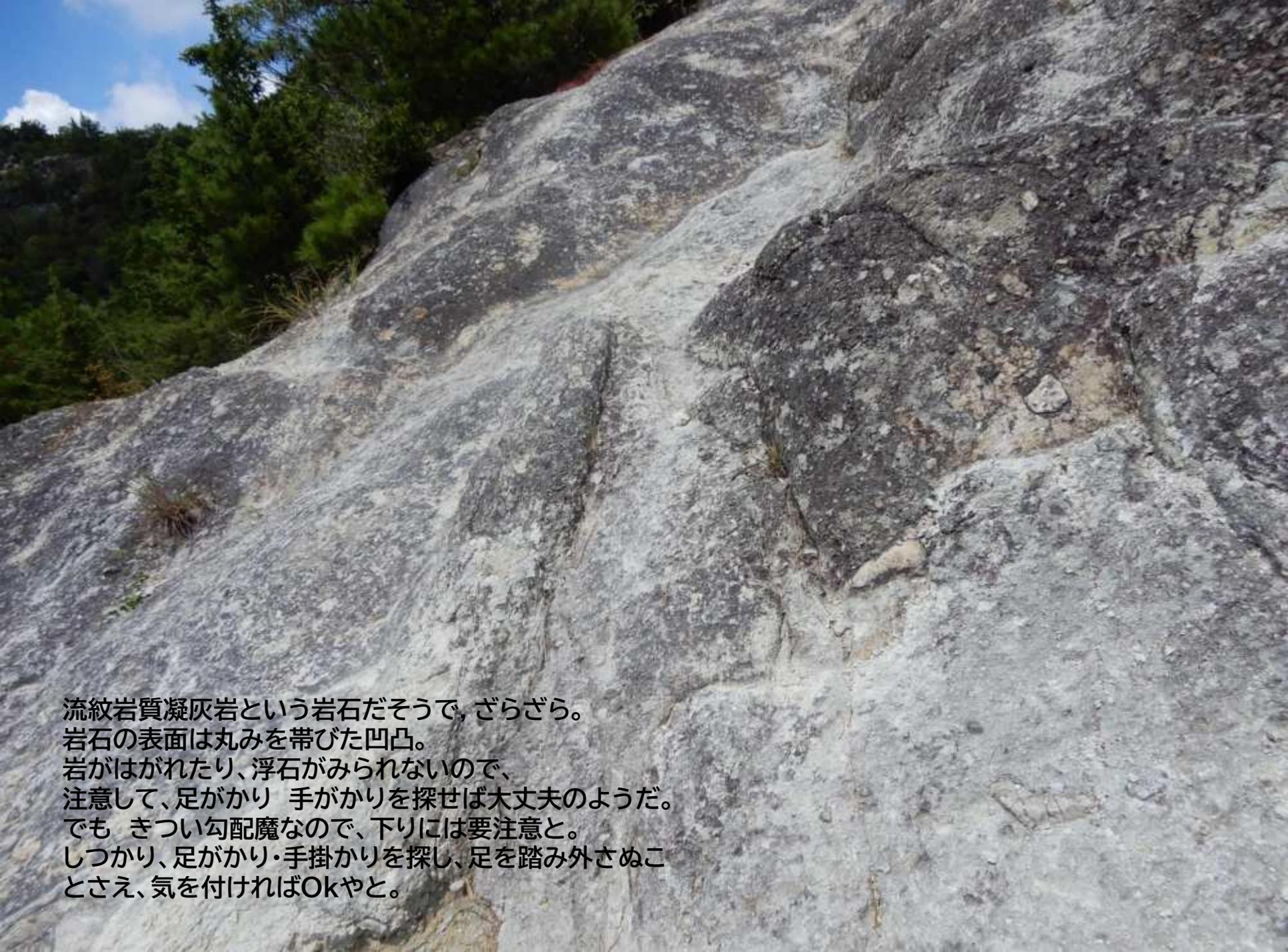
古法華寺観音堂 建物があるのはもうこれだけのようだ
後にみえる階段を登ってまっすぐ笠松山への登山道が続いている 2024.8.22.



古法華の寺域を抜けると いきなり直登の
岩尾根がまっすく天空に 2024.8.22.
11:45 笠松山 古法華登り口



笠松山への岩尾根歩き 傾斜は急ですが、開放感一杯で心地よし 2024.8.22.



流紋岩質凝灰岩という岩石だそうで、ざらざら。
岩石の表面は丸みを帯びた凹凸。
岩がはがれたり、浮石がみられないので、
注意して、足がかり 手がかりを探せば大丈夫のようだ。
でも きつい勾配魔なので、下りには要注意と。
しつかり、足がかり・手掛かりを探し、足を踏み外さぬこと
さえ、気を付ければOkやと。



ひと登りして一息すれば、谷を挟んで 向こうに善坊山山頂、
その尾根筋には人が見える?? 2024.8.22.



岩壁を登り切って、谷を挟んで向こう側 坊山山への岩尾根筋に人が見える
2024.8.22. 11:47



笠松山岩尾根から眺める善坊山 山頂へ延びる岩尾根が良く見える 2024.8.22.



善坊の尾根筋の向こうに加西の田園地帯がひろがっている 笠松山の岩尾根より 2024.8.22.
画面中央から右への帯は青野ヶ原 一番見たかった山上からの夏の田園風景



笠松山岩尾根から眺める加西の夏の終わりの田園風景 2024.8.22.
里からは眺められなかった秋の稔りのパッチワーク模様が少し見られる



岩尾根の反対側 南東側 遠くには小野アルプスが顔お出しているのが見える
2024.8.22. 笠松山岩尾根で



岩尾根の南東側 遠くには小野アルプスが顔を出しているのが見える 2024.8.22. 笠松山岩尾根で



岩尾根の小さなこぶが　すぐ上に　加西の平野展望の期待　2024.8.22.　笠松山岩尾根で



加西アルプス 笠松山岩尾根から眺める 善坊山全景 2024.8.22. 11:58







尾根筋前方左手に笠松山山頂がみえ、頂上もすぐそこ
気にかかっていた笠松山の鎖場も見える 2024.8.22. 11:58



尾根筋前方左手に笠松山山頂がみえ、頂上もすぐそこ
気にかかっていた笠松山の鎖場も見え、大丈夫のようだ 2024.8.22.





笠松山岩尾根から眺める加西の夏の終わりの田園風景
里からは眺められなかった実りの象徴 パッチワーク模様も見られました

加西アルプス 笠松山岩尾根から眺める 加西の田園地帯 2024.8.22. 11:58



加西アルプス 笠松山 の岩尾根歩き特に問題なさそうだし、山上からの田園風景・周囲の山々そして快適な岩尾根の Photo も撮れたので、もうすこし、笠松山の姿を眺めたかったのですが、帰りの岩尾根下り時間を考えて引き返すことに 12:02





加西アルプス 笠松山岩尾根から眺める 善坊山全景 北東側



加西アルプス 笠松山岩尾根から眺める 南東側 ちょっと小野アルプスが顔を出している？



良く知らなかった「加西アルプス」 展望がきく、開放感一杯の山歩きが本当にGoo!!と



ほんのちょっぴりでしたが、加西アルプスの岩尾根の状況も確認できました。
神戸西六甲とはちょっと違う散歩道をまた一つ加えて。
山上の田園風景も気に入りました。
展望がきく、開放感一杯の山歩きが本当にGooと
12:10



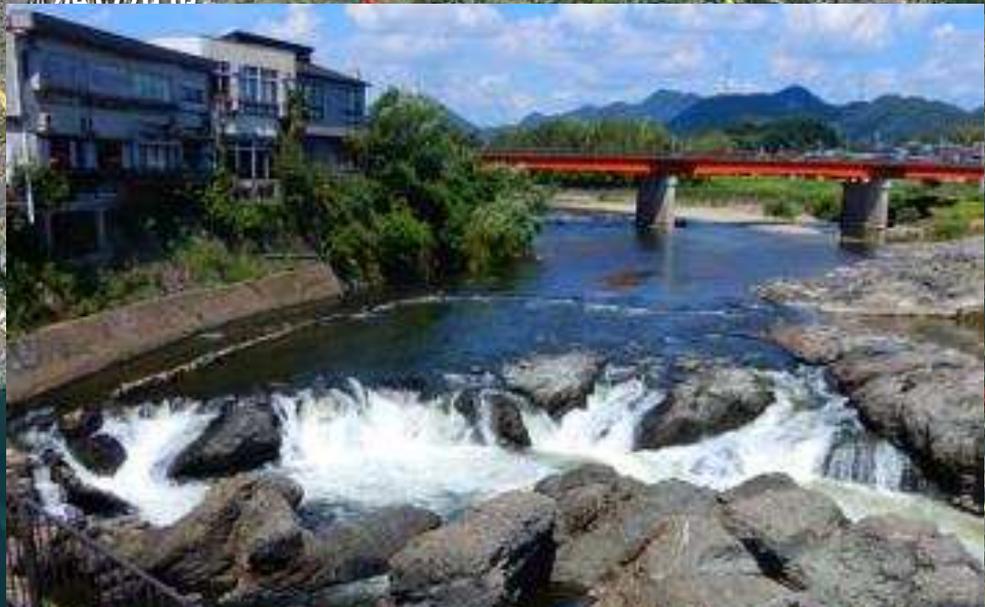
笠松山岩尾根から眺める加西の夏の終わりの田園風景も撮れたし、ほんのちょっぴりですが、加西アルプス岩尾根歩きも出来て、謎も解けました。次は闘龍灘へ直走り。2024.8.22. 12:25



県道372号線 加西アルプスを背に広がる加西の田園地帯を楽しみながら闘竜灘へ

【2】 気になっていた加西アルプスの岩山 善坊山・笠松山
岩山の道確認をかねて 古法華寺から登って 笠松山岩尾根を登る

[3] 水飛沫をあげて流れ下る加東市滝野 加古川の闘龍灘へ



加西市善坊の岩尾根歩きの後の午後は加古川中流東龍灘を見て帰路へ。
東播磨平野の北端の山裾に広がる酒米の郷が点々と連なる丘陵地に点々と連なる酒米「山田錦」の里を駆けて神戸に。

例年9月初め 稲穂が黄金色に実る頃には灘の酒蔵の旗が競って田の畔を飾る里景色が見られるのですが、今回はちょっと早かったようだ。でも丘陵地に点々とつながる田園の美しい里景色
広大な南の田園地帯とは違った美しさを楽しみに、酷暑の中水飛沫明けて流れ下る名勝東龍灘へ。

加古川の中流 名勝 闘龍灘 加東市滝野 2024.8.22.



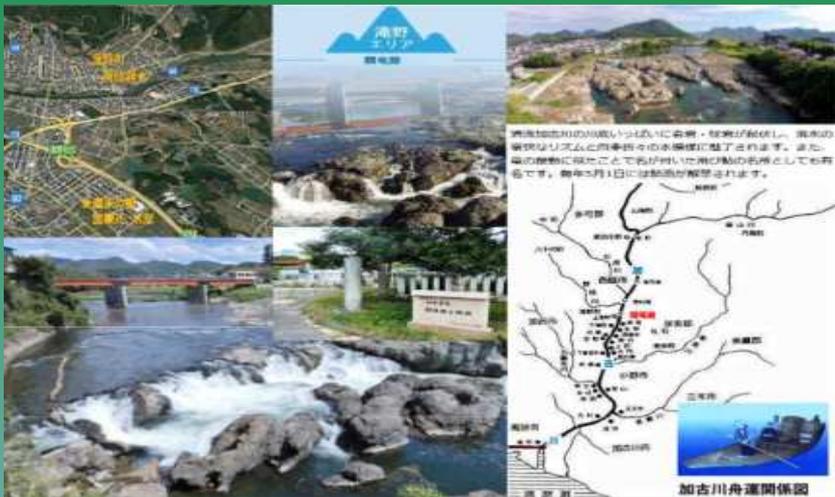


加西の道筋は四季折々何度も原チャリで駆けたことがある良く知る道。
古法華公園の西口へ下って、西からグルリと加西アルプスの北側の田園地帯を東南東へ道なりをまっしぐら。加西アルプスを背景に緑一色の加西の田園地帯駆け抜ける。
風を切り緑一色の田園を駆け抜ける心地よさ。道路標識を確認しつつ、加西のフラワーセンター前へでて、戦争施設遺構と飛行場跡が保存されている鶯野飛行場を横切り、下宮木の里から国道372号を北東へ辿れば滝野 闘竜灘。

【参考】初秋 西神戸・東播磨の郷の風物詩2022.9.12
西神戸でみつけた小さい秋 ① 初秋 夏から初秋へ
<https://infokkno2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaweb.pdf>



県道372号線 加西アルプスを背に広がる加西の田園地帯を楽しみながら闘竜灘へ 2024.8.22.



【参考】加西の田園から加東市 加古川闘竜灘への道 そして加東市加古川東岸酒米 山田錦の里へ
 一昨年9月に訪れた 初秋 西神戸・東播磨の郷 初秋の風物詩 2022.9.12. より
<https://infokkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0410EHarimaweb.pdf>

今回は8月22日酷暑の中 実りのパッチワーク模様&酒米の田の畔に翻る酒蔵の旗をイメージしてのwalk 少し早かった。
 見渡す限り緑の田園地帯の素晴らしい里景色 そして 水音を轟かせながら水飛沫をあげて流れ下る闘龍灘
 これも晩夏のすばらしい東播磨の郷の風物詩 うれしい東播磨の夏送りになりました
 2024.8.22. 東播磨の野を駆けつつ Mutsu Nakanishi



県道372号線 加西アルプスを背に広がる加西の田園地帯を楽しみながら闘竜灘へ
加西アルプスを背にする田園の緑が本当に美しい 2024.8.22. 福住町周辺
緑が広がる田園が本当に美しい これから日毎に田園の景色が変化して、稔りの秋を迎えるのだらうと



水音を轟かせながら水飛沫をあげて流れ下る闘龍灘 2024. 8. 22.



水音を轟かせながら水飛沫をあげて流れ下る鬪龍灘 2024.8.22.
照りつける太陽の中 水飛沫を運ぶ風が心地よい 加東市滝野











水音を轟かせながら水飛沫をあげて流れ下る闘龍灘 2024. 8. 22.

青田から首を垂れる稲穂の田園へ 加東市から三木市の田園地帯

東播磨初秋の風物詩 酒蔵の旗が畦に立ち並ぶ山田錦の郷の里景色はこれから

**【4】酒米の里 加東市市木梨の里の夏送り？ 一面緑一色の田園を渡る風が見える
初秋 黄金色の田に灘の酒蔵の旗が立ち並び、彼岸花が畦を飾るのはこれから**



闘龍灘から加古川を渡って東へ一本道 国道175号に出て南へ
左の丘がきれいな田園地が見える十字路(新町)を左に折れて
社へ抜ける新道グリーンロードに入る。
右手に広がる田園と中国自動車道の高架を眺めながら道なりに行くと
道は南にカーブして高速道を潜ってゆく。もうすぐそこが木梨の里。

いつもPhotoを撮りに行く自動車道脇のお寺の前に広がる田園地へ
行くため、高速道路沿いの脇道を東へ。
脇道から右手南には 広大な緑の田園地が広がり、
目的のいつも行く木梨の安住寺前へ

国道175号線 加東市新町 クリーンロード入口周辺より
南の一面緑 加東市上中の里の田園地で 2024.8.22.

東播磨初秋の風物詩 酒蔵の旗が畦に立ち並ぶ山田錦の郷の里景色はこれから
青田から首を垂れる稲穂の田園へ 加東市から三木市の田園地帯
初秋 には 灘の酒蔵の旗が立ち並び、彼岸花が畦を飾る酒米の里を
一面緑一色の田園を渡る風が見える 加東市市木梨の里の夏送り

一面緑一色の田園を渡りゆく風が見える夏送り
毎年訪れる酒米の里 中国自動車道沿い 加東市木梨 安住寺周辺 2024.8.22. 13:35
里の人たちと灘の酒蔵剣菱が守ってきた幻の酒米「愛山」の栽培地として知られる加東市木梨の里
毎年初秋の東播磨の田園の風物詩「畔を飾る酒蔵の旗と真っ赤なヒガンバナの里景色」を切り取りに来るが、
そんな初秋の里景色はまだこれから。緑の田園を風が渡りゆく晩夏の景色を眺めつつ、9月に再度訪れることに。



緑一色の田園を風が渡ってゆく 音はしないが広い田園を渡る風が見える 酒米の里の夏送り？

この木梨の里から東へ広がる山裾の丘陵地に点々と広がる加東市・三木市の田園地は
9月になれば 田園地の畔には酒蔵の旗が点々と立ち並び稔りの秋を約束する酒米の里 初秋の風物詩
今はまだ一面緑 稲穂が成長途上の真ただ中。

9月になれば再度訪ねることにして 一面緑の里景色を楽しみつつ、
田園地帯を駆けて神戸に帰ることに。 緑一色の田園を風が渡ってゆく加東市木梨の里で 2024.8.22. |

【5】 帰路「酒米山田錦の郷 加東市・三木市」を駆ける

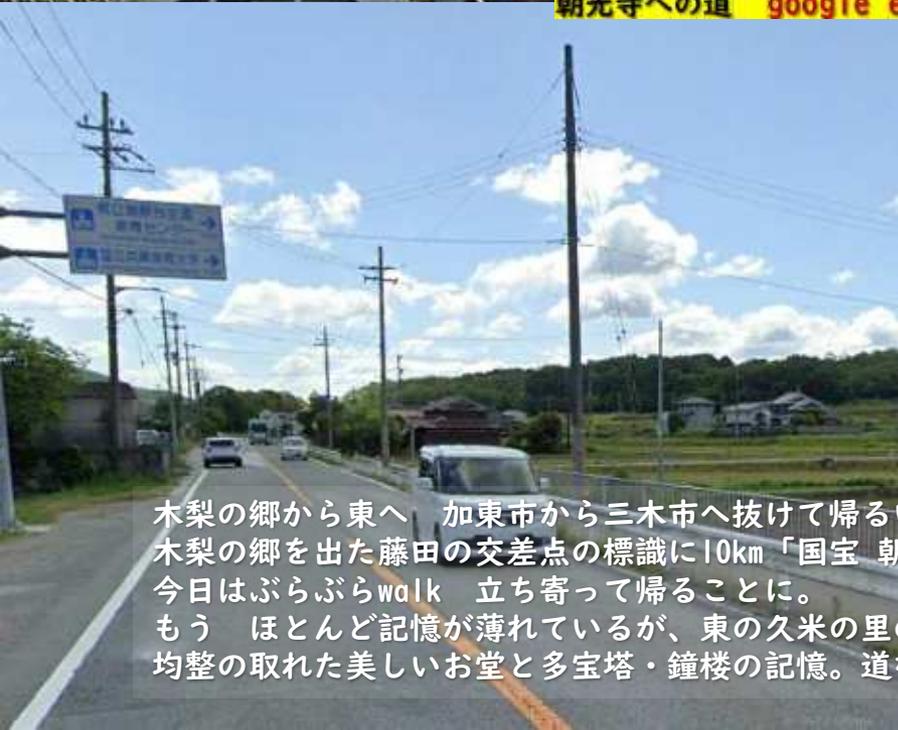
帰路今は緑一色の加東市から三木市の田園地帯を駆けて

〈1〉 帰路剣道17号で見つけた朝光寺の標識で久しぶりに北の山中にある国宝朝光寺へ





朝光寺への道 google earth street viewerより採取



木梨の郷から東へ 加東市から三木市へ抜けて帰るいつもの道 県道17号線
木梨の郷を出た藤田の交差点の標識に10km「国宝 朝光寺」を見つけ、薬分訪ねていない。
今日はぶらぶらwalk 立ち寄って帰ることに。
もう ほとんど記憶が薄れているが、東の久米の里の北 静寂な奥山にひっそり建つ
均整の取れた美しいお堂と多宝塔・鐘楼の記憶。道なりに中国道の高架を潜ればすぐ久米の里



朝光寺への道 google earth street viewerより採取



高速道路を潜り、左に嬉野の丘陵地を眺めつつ、山際を下久米の里を抜け、上久米に入ると前方に左折れ朝光寺の標識が見えてくる。 google earth street viewerより採取



朝光寺← 県道17号線 上久米朝光寺口





朝光寺への道 google earth street viewerより採取



★朝光寺駐車場

★朝光寺

つくばね滝

吉祥院

畑

畑公民館

住吉神社(畑)



google earth street viewerより採取

● 朝光寺通用口

朝光寺鐘楼
● 国宝朝光寺本堂

● 朝光寺多宝塔

● 朝光寺仁王門

● つくばねの滝

仁王門・つくばねの滝へは
入口から谷筋の山道
途中 仁王門への急石段を上る必要
朝光寺へは上の通用口からの方がは
るかに歩きやすく楽です

● 公衆トイレ

● 朝光寺
仁王門入口

★朝光寺駐車場



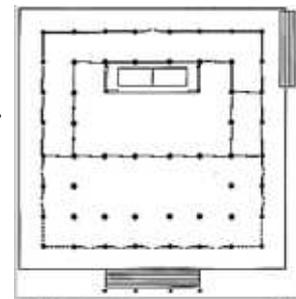


国宝 朝光寺 本堂 加東市畑 2024.8.22.

朝光寺は法道仙人が開基と伝えられ、国宝の本堂は細部に和様・唐様の折衷様を呈した方七間の堂々たる建物、室町時代初期の建築といわれ、鐘楼は重要文化財に指定。

堂は桁行（間口）7間、梁間（側面）7間で、正面に3間の向拝を付す（「間」は長さの単位でなく、柱間の数を表す用語）

向拝は文政12年（1829年）に付加されたものである。組物は出組、中備（なかぞなえ）は双斗（ふたつど）とする。堂内は手前の梁間3間分を外陣ととする。その奥は中央の桁行5間×梁間3間を内陣とし、その左右に脇陣、後方に後陣を設ける。内外陣境は下を格子戸、上を菱格子の欄間とする。柱間装置は正面の中央5間と側面の手前から2間目および3間目を棧唐戸とし、正面の左右両端間と側面の前端間を連子窓とする¹。



本堂平面図



朝光寺 本堂 内部

2024. 8. 22.



東本尊・西本尊と称される二軀の千手観音



本堂の内部より 仁王門



本堂



鐘楼



多宝塔



仁王門



本堂正面から仁王門





朝光寺本堂 2024.8.22.



朝光寺本堂 & 鐘楼

2024.8.22.



朝光寺 多宝塔 2024.8.22.



朝光寺本堂から仁王門

2024.8.22.



朝光寺本堂 & 鐘楼

2024.8.22.

国宝 朝光寺本堂（昭和29年3月20日指定）

朝光寺は、法道仙人の創立と伝え、もとは裏の権現山にあったが、平安末期文治5年(1189)に現在地に移したという。桁行7間梁間7間単層寄木造本瓦、堂々たる本堂である。

和様を基調として、扉の棧唐戸や組物中備の双立など唐様を取り入れた密教寺院の折衷様式の典型ともいべき貴重な遺構である。

現建物について直接の資料は欠くが、扇子の嵌板には室町初期 応永年間の仏壇造営記録等があり、本堂の様式手法も同時代に一致すると見られている。

正面向拝は、文政12年の後補である。

旧法の特別保護建造物であったために、昭和10年から3ヶ年に亘り解体修理が行われた。

所蔵遺物には鎌倉・室町期銘を有する者が多く、文化祭の宝庫である

朝光寺指定文化財

国指定国宝
重要文化財

本堂
鐘楼
木造千手観音立像(西本尊)

県指定重要有形文化財

多宝塔
鰐口
太鼓
木造千手観音立像(東本尊)

無形民俗文化財

鬼追踊

市指定

仁王門
石造五輪塔
六面石幢
曳覆曼荼羅版木
神馬凶額
大般若経
弘法大師画像
制札
ツクバネ



国宝 朝光寺の諸堂 加東市畑 2024. 8. 22.





朝光寺仁王門正面の谷にかかるつくばねの滝 2024.8.22



つくばねの滝道から 朝光寺仁王門の階段 2024.8.22

久しぶりの朝光寺 そして緑の森に包まれた谷にかかる滝の水音 森林浴そのもの
心地よい朝光寺をあとにして、点々と丘陵地に続く田園地帯
山田錦の郷 三木市吉川に出て神戸へ 14:30

【5】 帰路「酒米山田錦の郷 加東市・三木市」を駆ける

帰路 今は緑一色の加東市から三木市の田園地帯を駆けて

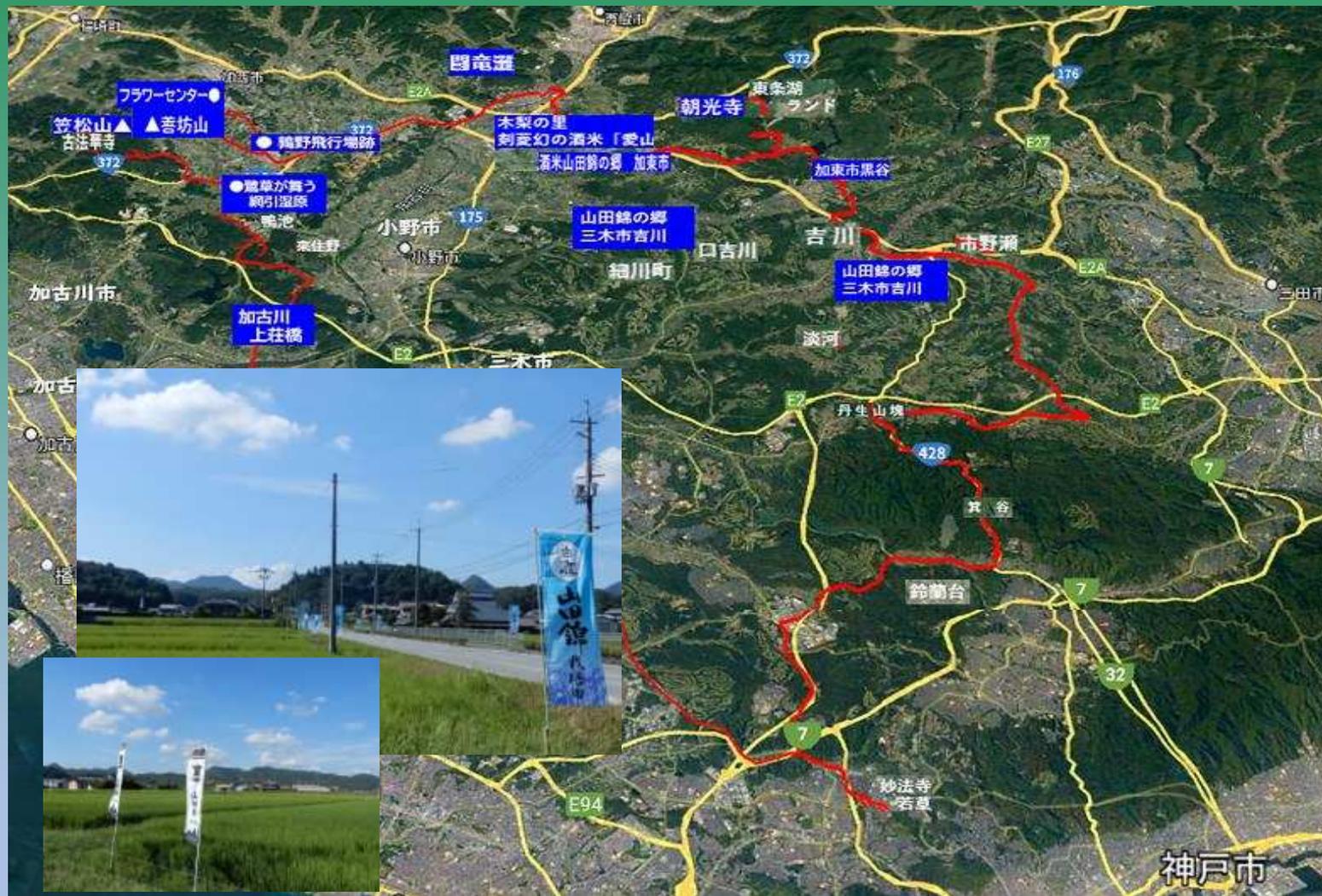
<1> 帰路 県道17号で見つけた朝光寺の標識 久しぶりに北の山中にある国宝朝光寺へ



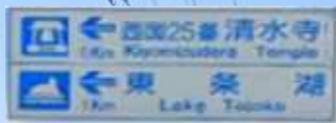
静かな森の中の寺の本堂に身を置く楽しさ。もうすっかり忘れかけていましたが、うれしい夏送りになりました
2024.8.22. 加東市畑 国宝朝光寺で 14:30

〈5-2〉 酒米山田錦の郷 加東市・三木市を駆ける

まだこれからと思っていた酒米の郷の田に立ち並ぶ灘の酒蔵の旗にも出会えました



青田から黄金に色付く田園へ 加東市から三木市の田園地帯は酒米の王者”山田錦”の故郷丘陵地帯をくねくねと続く山間の街道筋に点々につながる山田錦の里
まだこれからと思っていた酒米の郷の立ち並ぶ灘の酒蔵の旗にも出会えました
また、神戸淡河ではもう刈り入れまじかな里景色にも
夏の終わりを感ずる帰路の”山田錦”の故郷の田園地帯を駆け抜けました。



廻漕の里の3差路(東条湖から黒谷の里 県道37号へ)



東条湖&東条湖ランド



左からの県道313号に合流して黒谷の里へ下る



¥黒谷の里 : 県道17号との十字路



県道17号と313号との十字路黒谷の里 十字路を渡って県道313 山田錦の郷三木(吉川)へ向かう入口
もう道の両側の田の畔には灘の酒蔵の旗が田を飾っていました。Photoはgoogle Earth(2022)より



まだ早いとあきらめていた山田錦の郷の初秋の里景色に出会えました
県道313と17号の十字路 加東市 黒谷の里で 2024.8.22. 14:46
東西に延びる県道17号との十字路を渡って県道313 南は山田錦の郷三木(吉川)への入口
道の両側 田の畔には灘の酒蔵の旗が幾本も田を飾っていて、うれしい出会いに。

「酒米山田錦の里」風物詩 灘の酒蔵の旗が 稔りを迎えた栽培田の畔を飾る里景色
2024.8.22. 加東市黒谷の里で





黒谷の郷から、中国道に沿って、山間を国道17号に出て、三木市吉川の郷に入ってふう〜と一息。

酒米の郷の畔に酒蔵の旗がはためく里景色にも出会えて後はゆっくり淡河の郷のいつもの定点の里景色を眺めて、丹生山を南に越えれば、我が家へのいつもの道。

久しぶりの吉川の郷 吉川の街中、“よかたん温泉”の案内標識を眺めつつ、南に折れず、東へ通過。淡河への国道428号に入れず、吉川の一番東まで行ってから回り込んで北神戸淡河の郷に出ることになりました。

遠回りですが、久しぶりに原チャリで駆けて、私にとっては今回は好奇心いっぱいの東播磨の原チャリWALKに。

淡河の十字路から、北の山陽道沿いの丘へ上がって丹生山塊の山並を背に広がる淡河の里景色。



黄金色に色づき始めた北神戸 淡河の里の里景色 もうすぐそこに稔りの秋
2024.8.22. 淡河の里で



稲穂がたれ始め、くっきりとした畦が見える田んぼの向こうに茅葺の農家を見つけました
photoの撮った場所はよくわかりませんが、いかにも田舎の田園らしい里景色
加東市黒川の里から県道313号を三木市吉川へ丘陵地を越えてゆくところか???



稲穂がたれ始め、くっきりとした畦が見える田の向こうに茅葺の農家、
いかにも田舎の田園らしい里景色
黒川の里から県道313号を三木市吉川へ丘陵地を越えてゆくところ????
2024.8.22.



黄金色に色づき始めた北神戸 淡河の里の里景色 もうすぐそこに稔りの秋
2024.8.22. 淡河の里で



黄金色に色づき始めた北神戸 淡河の里の里景色 すぐそこに稔りの秋
2024.8.22. 淡河の里で 15:30

快晴 酷暑の中で 好奇心一杯で飛び出した田園 酒蔵の旗が畔を飾る里に出会えるかもと半分期待もしての原チャリWALK
東播磨平野北の壁 丘陵地に沿って広がる田園地帯 一面緑の中を風を心地よく駆け抜けた一日。
本当に盛りだくさんの一日でしたが、私の夏送りになりました。

2024年夏の終わり 身も心もリフレッシュ 稔りの秋はすぐそこまで

2024.8.22. 帰路 原チャリのエンジン音を聞きながら 丹生山を越える Mutsu Nakanishi

東播磨の田園地帯を原チャリで駆ける心地よい一日に 2024.8.22.

今でないとみられぬ東播磨の里景色 私の夏送り

- 西神戸から自生の鷺草が舞う加西市の南端にある網引湿原へ
- ずっと気にかかっていた加西アルプスの岩山 善坊山・笠松山
偵察をかねて立ち寄り、古法華寺から岩尾根を登って笠松山山上へ
- 加古川中流の名勝「闘竜灘」の激流に出会い
- 加東市木梨の里の夏送り?? 緑一色の田園 田を渡る風が見える里景色
- 青田から黄金に色づく田園へ 加東市から三木市の田園地帯
 - ◆ 東播磨の風物詩 酒蔵の旗が畦に立ち並ぶ山田錦の里景色はこれから
 - ◆ 久しぶりに 加東市上久米の奥山 国宝 朝光寺をたずねました
 - ◆ 酒蔵の旗が畔を飾る里、北神戸淡河ではもう刈り入れまじかな里景色も

8月の猛暑逃れの原チャリwalk

この季節にしか見られぬ田園の里景色を楽しみました。

2024.8.22. Mutsu Nakanishi





2024.9.3. 稔りの秋を約束する黄金色のパッチワーク模様の田園
西神戸伊川谷小寺の里の田園で



2024.9.3. 稔りの秋を約束する黄金色のパッチワーク模様の田園
西神戸伊川谷小寺の里の田園で

日本列島各地にゲリラ豪雨の大被害をもたらした台風10号
東日本はまだ、今もその影響が続くとお聞きしますが、
いかがでしたでしょうか
まだまだ厳しい日差しと台風そして体調にも気を付けて
毎日をお元気で

2024.9.5. From Kobe Mutsu Nakanishi

2024.9.3. 稔りの秋を約束する黄金色のパッチワーク模様の田園
西神戸伊川谷小寺の里の田園で